

# 日本の知財金融：「3つの罠」から「企業価値担保権」による未来へ

## PROBLEM

### なぜ進まない？日本の知財金融が抱える「3つの罠」

#### 評価の罠

知財の客観的な価値認定は極めて困難で、多大なコストと時間がかかります。



#### 流動性の罠

担保にした特許などを売却できる「中古市場」が日本には存在しません。



#### リスク負担の罠

融資が焦げ付いた際のリスクを金融機関が単独で負う構産になっています。



## SOLUTION

### 未来を変える新制度「企業価値担保権」とは？

#### 「事業まるごと」を担保に

2026年施行予定。個別の特許や取組ではなく、事業会体を一体として担保にします。



#### 評価の視点を「将来性」へ転換

個別資産の価値ではなく、事業が生み出す将来のキャッシュフローを評価します。



#### 2026年発行予定 新制度



#### 「出口」はM&A市場を活用

但し時は事業を丸ごと売却。知財の「売り先がない」問題をM&A市場で解決します。